

ブロニスワフ・ピウスツキの生涯と仕事

井上 紘一

(北海道大学名誉教授)

ブロニスワフ・ピウスツキ没後100年記念

講演の集い (2)

～ポーランド、サハリン、北海道～

北海道大学学術交流会館1F第4会議室

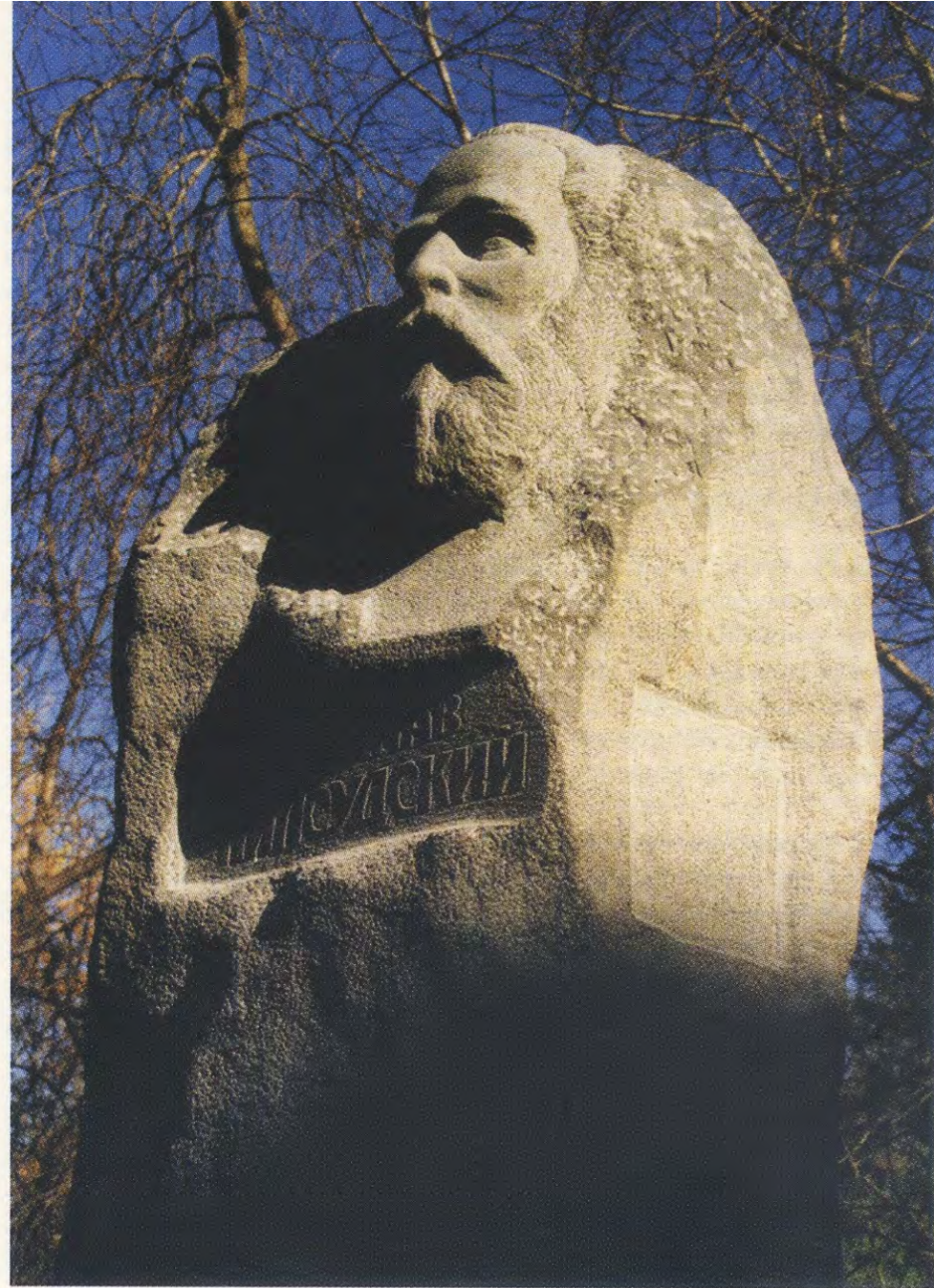
2019年3月16日(土)



1. 44才当時の
油彩肖像画
(1912, ザコパネ,
アドマス・ヴァル
ナス作)



2. 百回忌の慰霊行事にて(2018年5月17日, 白老)



A monument to Bronisław Piłsudski erected in 1991 in Yuzhno-Sakhalinsk

3. 最初の記念碑(1991年11月2日,
ロシア, ユジノ・サハリンスク)



4. 第2記念碑
(2013年10月19日, 白老)



5. 第3記念碑(2017年4月25日, リトワニア, ザラヴァス/ズーウフ)



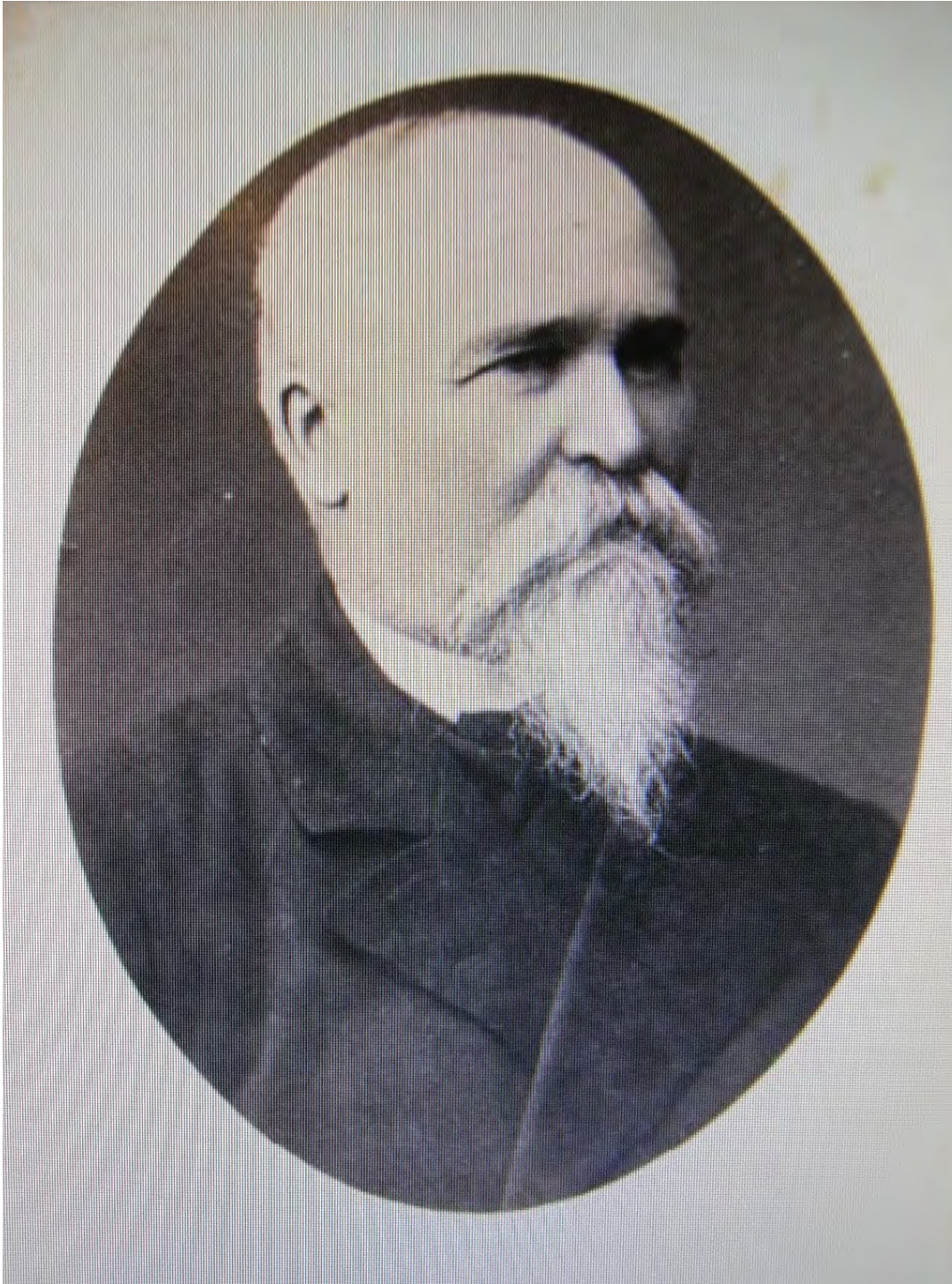
6. 第4記念碑(2018年5月22日, ポーランド, ジョリ)



7. 1875年の大火以前のズーウフ荘園



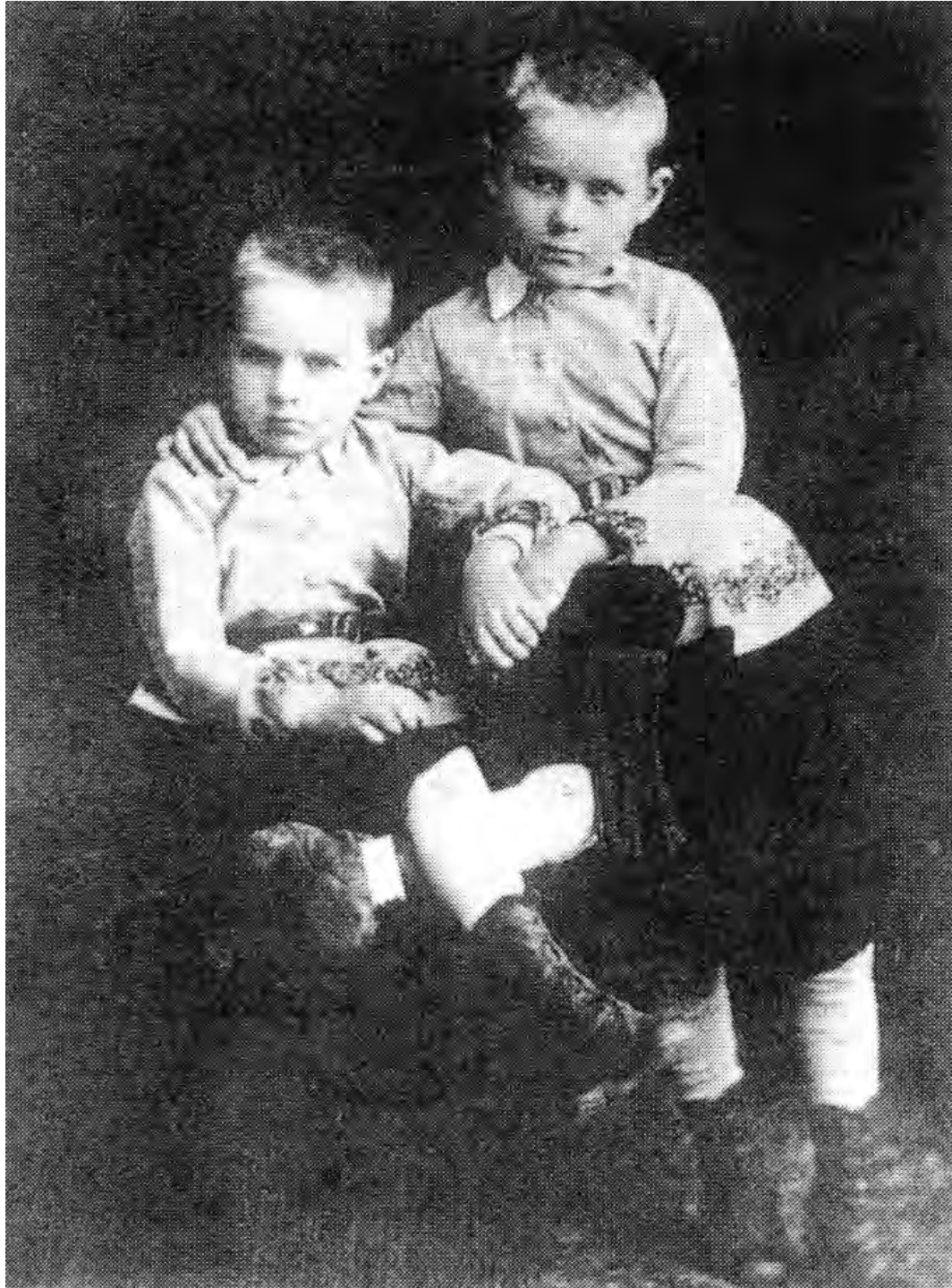
8. 母マリア・ピウスツカ



9. 父ユゼフ・ピウスツキ



10. 両親のマリアとユゼフ



11. ユゼフ, ブロニスワフ兄弟(1870
年頃, リトワニア, ズーウフ)



12. 中学時代のピウスツキ兄弟(1885年, リトワニア, ヴィルニユス)



13. 北サハリンにおけるブ
ロニスワフ(1880年代
末/?/, ルイコフスコエ)



14. ニヴフの子供たちとともに(1890年代, ルィコフスコエ)



15. 浦塩時代のピウス
ツキ(1899～1902年)



16. 函館にて(1903年
夏, 井田写真館)



17. 53才のチュフサンマ
(1931年, 白浜, 北里闌撮影)



18. チュフサンマと助造(1904~05年, 相浜, BP撮影)



19. 二葉亭四迷とともに(1906年6月, 東京, 中黒写真館)



20. マリア・ジャルノフスカと
ともに(1907年, クラクフ/?/)



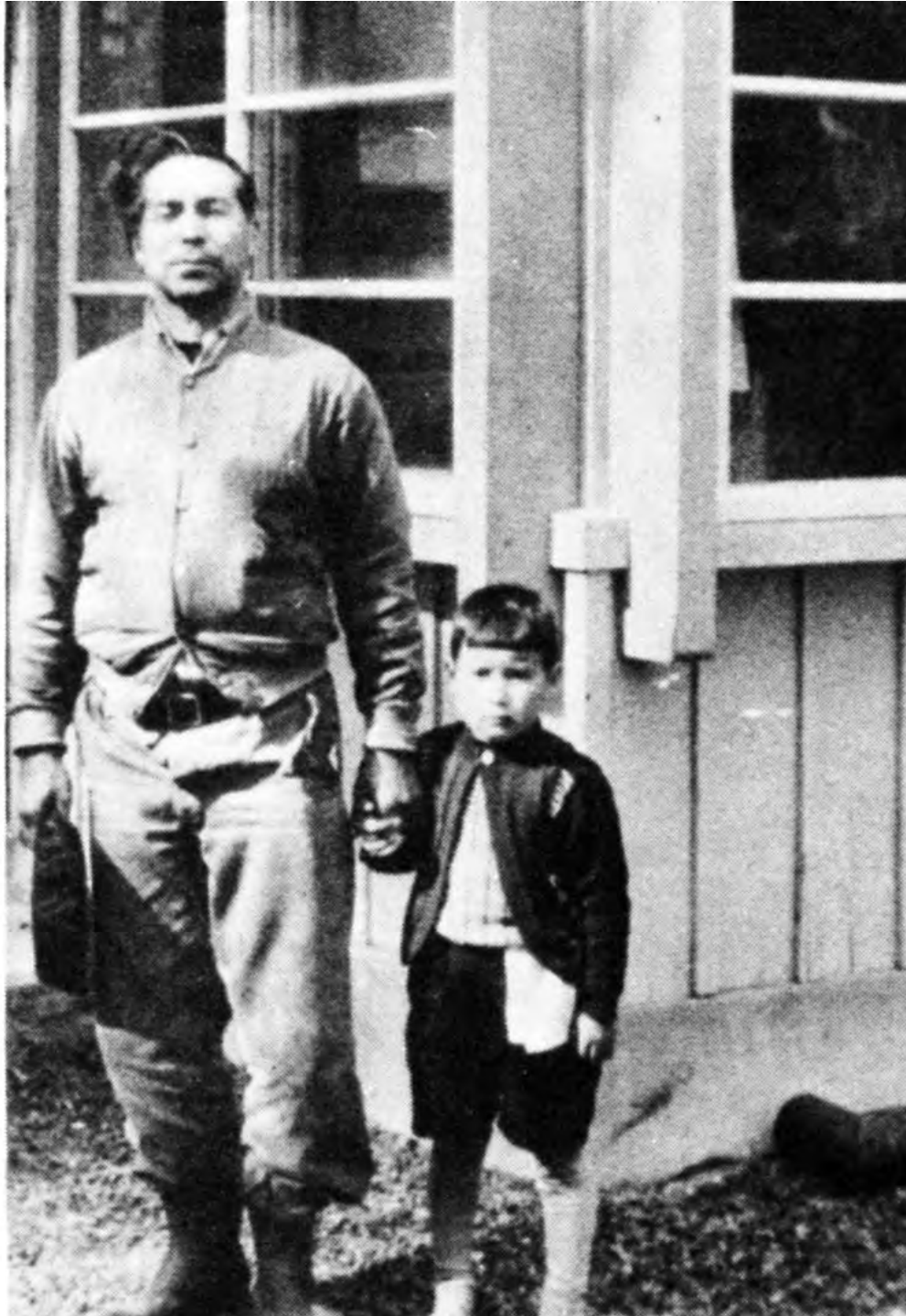
65. Bronisław Piłsudski

Po zwolnieniu z katolicy mieszkał na Hokkaido w Japonii prowadząc badania etnograficzne nad Ainami. W 1906 roku przyjechał do Galicji. W 1914 roku, przed wyjazdem do neutralnej Szwajcarii, przebywał w Zakopanem.

21. ガリツィアにて(1914
年初冬, ザコパネ)



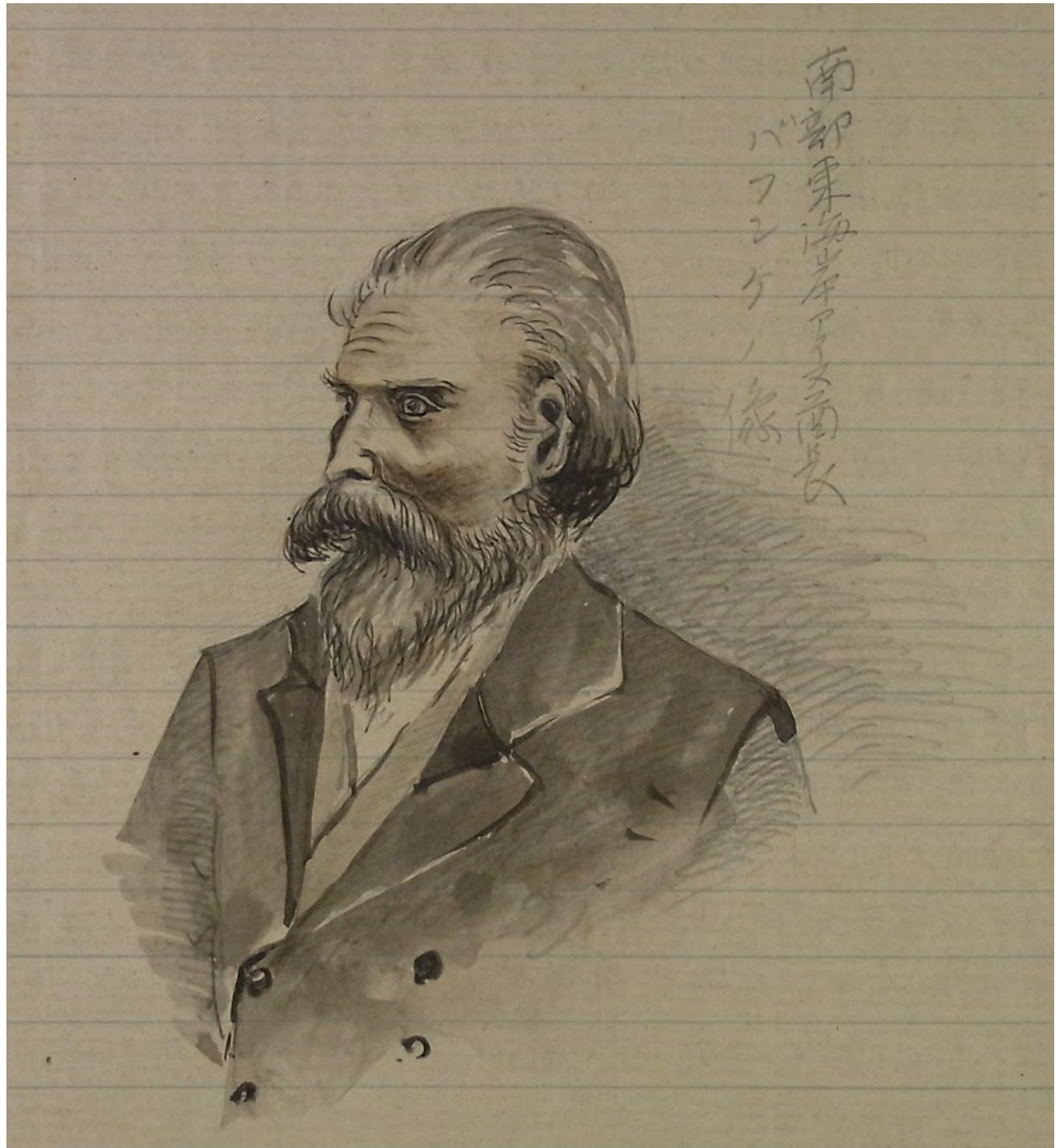
22. 木村助造(1934年1月9日, 白浦, ヤンタ・ポウチンスキ撮影)



23. 木村助造と子息和保
(1960年頃, 富良野)



24. バフンケと青山東園(1917年,
樺太, 『極北の別天地』所収)



25. バフンケのスケッチ
(1905年9月3日, 樺太・
大谷, 太秦供康「樺太出
征日誌」所収)



26. 相浜のトテコセ
(1902～05年, BP撮影)